



3. 自然災害からくらしを守る 1 地震からくらしを守る①

教科書

76～81ページ

答え 8 ページ



次の()に入る言葉を、下から選びましょう。

1 県内のさまざまな自然災害／地震が起きたら

教科書

76～79ページ

▶ さまざまな自然災害

- 自然災害には、地震災害のほかに、大雨や強風による(①)害、
ふん火による(②)災害、大雪による雪害などがある。

▶ 地震によるひがい

- 静岡県では1974年に伊豆半島沖地震が起
こった。
- 地震では建物がたおれるだけでなく、火事によ
るひがいが起きたり、海に面したまちでは
(③)のひがいが起きること
もある。
- ひがいが大きくならないように、県や国から、
伊豆半島沖地震直後に出動した(④)
けいさつや消防、(④)が出動する。



2 地震とわたしたちのくらし

教科書

80～81ページ

▶ 地震によるくらしへのえいきょう

- 家がこわれた人のために、学校の体育館などが(⑤)になる。
- 道路が通れなくなると、助けが来るまでに時間がかかってしまう。

▶ 学習計画…地震からくらしを守るための取り組み

調べること	<ul style="list-style-type: none"> 地震が起きる前に家や学校、地いきで行っている(⑥)。 地震が起きた後の市役所や県、国の動きや(⑦)体せい。 住んでいる市、町、村の(⑧)と、 予想される(⑨)の広がり。
調べ方	<ul style="list-style-type: none"> 家や学校でインタビューをする。 市役所のたんとうの人に話を聞く。 地いきや市、県、国の(⑩)について、本やホームページで調べる。

- 「だれが」「どのような」取り組みをしているのかに注目して、カードにまとめる。

選んだ
言葉に

☐ ひなん所

☐ 地形

☐ じゅんび

☐ ひがい

☐ 火山

☐ 津波

☐ 対さく

☐ 協力

☐ 風水

☐ 自衛隊

練習



ぴたトリビア

地震が多い日本では、ゆれに強い建物をつくるぎじゅつが^{はつたつ}発達しています。これは世界のなかでも進んだぎじゅつです。

教科書

76～81ページ

答え 8 ページ



1 伊豆半島沖地震について、答えましょう。

- (1) 伊豆半島沖地震で、大きなひがいが出た県はどこですか。 ()
- (2) 伊豆半島沖地震のときの様子について説明したものとして、正しいものには○、まちがっているものには×をつけましょう。
- ① () 地震発生直後に自衛隊が出動し、活動を行った。
- ② () この地いきで起こった大きな地震は、伊豆半島沖地震が^{はじ}初めてである。
- ③ () この地震による^{かさい}火災は起こらなかった。
- ④ () 地震後には、多くの人たちがひなん所に集まった。

2 次の学習問題について、学習計画を立てるときのメモの①～③にあてはまる言葉を、ア～ウから選びましょう。

学習問題 地震からくらしを守るために、だれが、どのようなことをしているのでしょうか。

●調べること

- ・地震が起きる前に家や学校、地いきではどのようなじゅんびをしているか。
- ・地震が起きた後の市役所や県、国の動きや協力体せい。
- ・市の地形と、予想される(①)の広がり、どのようなものか。

●調べ方

- ・家や学校で(②)をする。
- ・市役所のたんとうの人に学校に来てもらい、話を聞く。
- ・地いきや市、県、国の対さくについて、本やホームページなどで調べる。

●まとめ方

- ・調べたことを、「だれが」「(③)」取り組みをしているかに注目し、カードにまとめてクラスで話し合う。

ア ひがい ① どのような ウ インタビュー



3. 自然災害からくらしを守る 1 地震からくらしを守る②

教科書

82～85ページ

答え 8 ページ

次の()に入る言葉を、下から選びましょう。

1 家庭でそなえているもの

教科書

82～83ページ

▶ 家庭でのそなえ

- ・家の中で安全な場所を知っておく。
- ・きん急の食料や①)
など、ひなん生活に必要なものをそろえておく。
- ・②)の転とう防止の
対さくをする。



▶ 家族での話し合いや約束

- ・地震のときは③)に乗らない。
- ・電話がつながりにくくなったら、番号171に電話をかけて伝言を残し、災害用④)でれんらくし合う。
- ・近くの公園などの⑤)に集まる。

↑ 家でそなえているもの

2 学校や通学路でそなえているもの

教科書

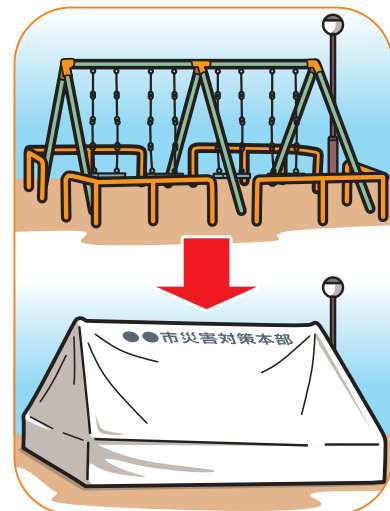
84～85ページ

▶ 校内や学校の周りでの地震対さく

- ・ひなん⑥)を行う。
- ・地震体験車で大きな震度の地震を体験する。
- ・たななどの転とう防止をしたり、きん急の食料を
じゅんびしたりする。
- ・国や県、地いきが管理する⑦)に
は、地いき防災のそなえとして、毛布やトイレなどが
ほかんされている。
- ・⑤)に、⑤)であることをしめす
⑧)を立てる。
- ・公園にあるブランコは、ひなんしたときに
⑨)にすることができる。



↑ ⑧



↑ ⑨ にできるブランコ

選んだ
言葉に

☐ 訓練

☐ エレベーター

☐ ひなん場所

☐ 家具

☐ テント

☐ 伝言ダイヤル

☐ 水

☐ 防災倉庫

☐ ひょうしき

練習



ぴたトリビア

大きな災害が起こった場合、ひがいにあった地いきの人たちが安心してじょうほうを得られるよう、公衆無線LANが無料で開放されます。

教科書

82～85ページ

答え 8 ページ

1 次の問いに、答えましょう。

- (1) 地震にそなえた家庭での取り組みについて、次の文の①～④にあてはまる言葉を、㍖～㍑から選びましょう。

地震にそなえて、日ごろから①などがたおれてこないように転とう防止の対さくをしたり、きん急の②や水などをじゅんびしておく必要がある。また、家族で話し合っ、地震が起きたときの③の方法や集まる場所などの④を決めておくとい。

①() ②() ③() ④()

㍖ 食料 ㍗ 約束 ㍘ れんらく ㍙ 家具

- (2) 大きな災害が起こり電話がつながりにくくなったときは、何番に電話をかけて伝言を残しておくといですか。()

2 学校や地いきで地震のためにそなえている①～④についての説明を㍖～㍑から選んで、線で結びましょう。

①



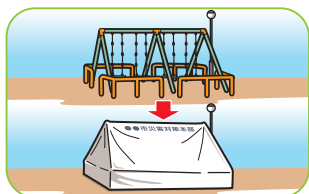
㍖ きん急の食料や水だね。家から非常食を持ち出せなかったときも安心だね。

②



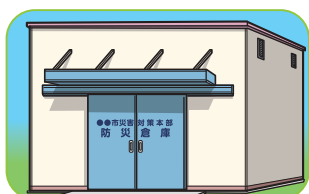
㍗ ふだんは遊びに使っているけど、地震が起きたらテントとして使うことができるんだね。

③



㍘ 地震が起きたときのために、毛布やトイレなどがほかんされているよ。

④



㍙ 地震が起きたときにひなんする場所が、一目でわかるね。

たしかめのテスト



3. 自然災害からくらしを守る 1 地震からくらしを守る

🕒 時間 30 分

100

.....
ごうかく 80 点

教科書

76～85ページ

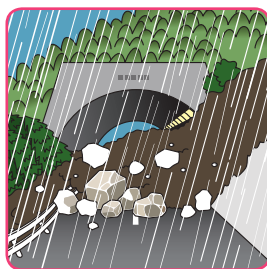
答え 8 ページ



1 自然災害とそのひがいについて、考えましょう。

1つ5点 (25点)

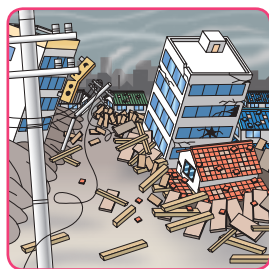
- (1) **よく出る** 次の絵は自然災害の様子です。絵にあてはまる説明を㍖～㍑から選びましょう。



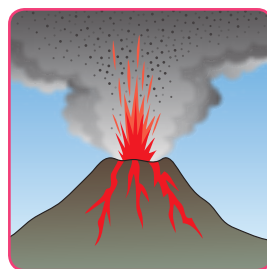
① ()



② ()



③ ()



④ ()

㍖ ふん火によってはいが空にふき出ている。

㍗ 大雨によって土砂がくずれている。

㍘ 道路に雪がふり積もり、交通じゅうたいが起こっている。

㍙ 地震によって、家などの建物がとうかいしている。

- (2) 地震が起こったとき、特に海に面しているまちが受けることがあるのは、何によるひがいですか。 から選びましょう。

火事 津波 道路のひびわれ






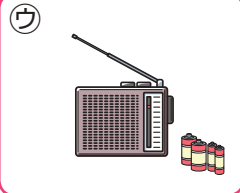


2 地震からくらしを守る取り組みについて、クラスで調べたりまとめたりするときに行うこととして、正しいものには○、まちがっているものには×をつけましょう。

1つ5点 (30点)

- ① () 市役所や県、国の動きや協力体せいについても調べるとよい。
- ② () 地いきの地形と、予想されるひがいの広がりはどのようなものかも調べるとよい。
- ③ () 市役所のたんのうの人に学校に来てもらい、話を聞くのもよい。
- ④ () 家や学校での取り組みについては、まとめる必要はない。
- ⑤ () 県、国の対さくについては、学校の先生だけに聞いてまとめる。
- ⑥ () 取り組みについて調べたことを、「だれが」「どのような」に注目してまとめる。

3 **よく出る** 災害のときの次の①～④のような場合にそなえて、じゅんびしておく
とよいものをア～エから選び、線で結びましょう。

1つ5点 (20点)


<p>① </p>	<p>調理ができなくなったり、食料 を得るのがむずかしくなってい まうことがあります。</p>	<p>ア </p>
<p>② </p>	<p>電気が止まってしまうと、ひが いのじょうほうを知ることがむ ずかしくなります。</p>	<p>イ </p>
<p>③ </p>	<p>外に出てひなん所へ行くとき、 ガラスやブロックのはへんが落 ちてくることがあります。</p>	<p>ウ </p>
<p>④ </p>	<p>水道が止まって、水が使えなく なってしまうことがあります。</p>	<p>エ </p>

4 学校や通学路でそなえているものについて、考えましょう。

1つ5点 (25点)

(1) 次の文のうち正しいものには○を、まちがっているものには×をつけましょう。

- ① () 公園にあるブランコには、テントとして活用することができるものもある。
- ② () 学校のひなん訓練は、年に1回だけでなく、定期的に数回行われている。
- ③ () 学校では、食中毒などのきけんから守るため、きん急の食料はほかんされていない。
- ④ () 毛布やトイレなど、生活に必要なものがほかんされている防災倉庫は、すべて国が管理している。

(2)  **日記** 学校で行われるひなん訓練では、放送があった後、どのような流れでひなんしますか。「かくにん」という言葉を使ってかん単に書きましょう。

思考・判断・表現

()



3. 自然災害からくらしを守る 1 地震からくらしを守る③

教科書

86～91ページ

答え 9 ページ



次の()に入る言葉を、下から選びましょう。

1 市の取り組み

教科書

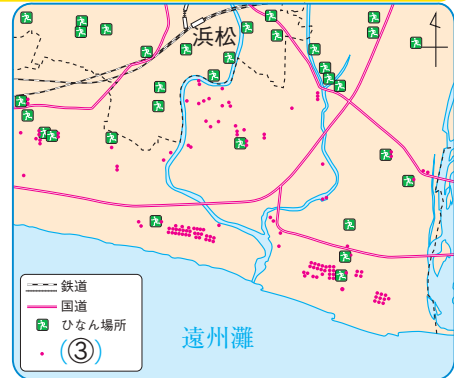
86～87ページ

▶ 災害時の市の対応

- 市では、地震などの災害が起きたときの対応などを(①)に定めている。
- (①)には、災害のときに消防やけいさつとどのよう(きょうりょく)に協力するか、市民がどこにどう(②)するかなどが定められている。
- 海に面した浜松市では、地震の後の津波にそなえて、多くの建物が(③)に指定されている。
- 大きな地震の場合は、国や(④)れん、県とも連携(れん)して対応していく。



いろいろな人が協力しているんだね。



↑ 海に近い地いきの(③)



↑ (③)のひょうしき

2 市と住民の協力／住民どうしの協力

教科書

88～91ページ

▶ 地いきの人の協力

- 市と住民が協力して、(②)行動計画を立てたり、ひがいのおそれのある地いきやひなんに(かん)関するじょうほうがのったハザードマップという地図を使いながら(⑤)を行ったりしている。
- 地いきで災害にそなえてつくられている組織を(⑥)そしき)といい、浜松市では(⑦)とよばれている。

▶ (⑦)の主な活動

- (⑧)はん…けが人の応急手当(おうきしやう)を行い、病院や救護所(きうごしょ)に運ぶ。
- 消火はん…初期消火(しよきしょうか)をしたり、火災(かさい)が起きていないか見回り(みまわり)をしたりする。
- ひなんゆうどうはん…地いきの人を、ひなん場所(ひなんばうしよ)まですばやく安全(あんぜん)に連れていく。
- 生活はん…たき出しを行ったり、食料品(しょくりやうひん)や飲料水(いんりやうすい)、生活用品(しよひんぎやう)などを配(つた)ったりする。
- じょうほうはん…じょうほうをすばやく伝えたり、ほうこくしたりする。
- 救助はん…救出活動(きうしゅくつどう)を行い、必要(ひつよう)によって防災関係機関(ぼうさいかんけいきかん)などへ出動(しゅつどう)をいらいする。

選んだ
言葉に☑

☐ 自衛隊
☐ 衛生

☐ 津波ひなんビル
☐ 防災訓練

☐ 自主防災組織
☐ 自主防災隊

☐ 防災計画
☐ ひなん

練習



ぴたトリビア

まちの電柱などに、その土地の海ばつがしめされているところが多くあります。これは日ごろから津波へのけいかいを高めるために置かれています。

教科書

86～91ページ

答え 9 ページ

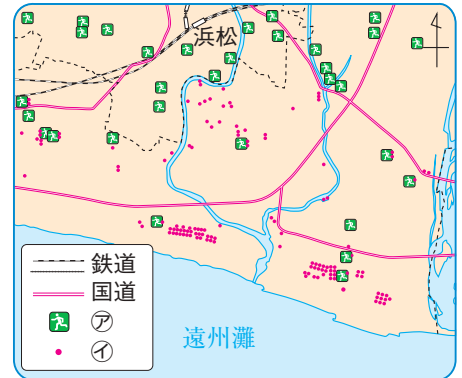
1 次の問いに、答えましょう。

- (1) 右の地図は、海に近い地いきの、津波にそなえるための地図です。地図中の㊦と㊧はそれぞれ何の場所をしめしていますか。

㊦() ㊧()

- (2) 右の図は、津波ひなんビルのひょうしきです。このひょうしきについて説明した文として、まちがっているものを㊦～㊩から選びましょう。

- ㊦ 津波ひなんビルの高さが書かれている。
 ㊧ さまざまな国の言葉で書かれている。
 ㊨ 海ばつ(地面の高さ)が書かれている。



2 浜松市の自主防災隊の①～④のはんが行うことを、㊦～㊩から選び線で結びましょう。

① 救助はん



㊦ たき出しを行ったり、生活用品を配ったりします。

② ひなんゆう
どうはん



㊧ 地いきの人をひなん場所まで連れて行きます。

③ 衛生はん



㊨ 救助活動などを行います。

④ 生活はん



㊩ けが人の応急手当をしたり、病院に運んだりします。



3. 自然災害からくらしを守る 1 地震からくらしを守る④

教科書

92～99ページ

答え 9 ページ



次の()に入る言葉を、下から選びましょう。

1 地震からくらしを守る取り組みをまとめる／ひなん所シミュレーション 教科書 92～95ページ

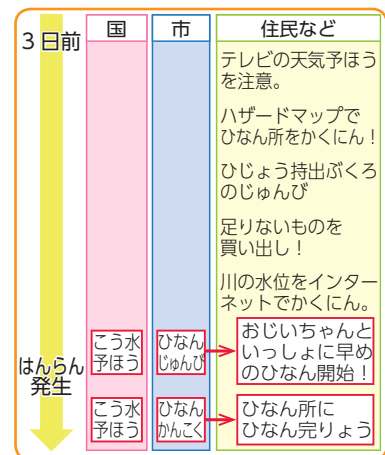
▶ 助けの役わり

- ① …自分の身は自分で守る。
→ ひなんリュックを用意しておき、災害時には落ち着いて行動する。
- ② …学校や地いきで助け合って守る。
→ ひなん訓練を行ったり、防災倉庫のかくにん・点けんなどを行う。
- ③ …市や県、国などによる助け。
→ 防災ひなん計画やひなん行動計画の作成・周知を行う。
- ④ …ほかの地いきとの助け合い。
→ ボランティア活動を推進したり、募金活動や助け合い活動を行う。

2 風水害からくらしを守る／火山災害からくらしを守る はつてん 教科書 96～99ページ

▶ 市の風水害対さく

- 茨城県常総市では、防災危機管理課が風水害対さくに取り組んでおり、国と協力していばうを大きくするなどの工事を行っている。
- 市では、防災じょうほうの受信機を家庭に置くほか、多言語に対応したスマートフォン・アプリも整びして⑤にも防災じょうほうがとどくようにしている。
- 地いきの人たちも自分で⑥というひなん計画をつくるなどしてそなえている。



▶ 村や県のふん火対さく


- 長野県王滝村では、御嶽山のふん火にそなえ、登山者や住民のために「⑦」を作成している。
- 山では、山小屋をほ強して、⑧やかい中電とうなどをそなえている。
- 御嶽山は長野県と岐阜県にまたがっているため、県や関係する市町村、消防やけいさつ、⑨の機関が協力して「御嶽山火山防災きょうぎ会」をつくり、けいかいひなん体せいの整びに取り組んでいる。

選んだ言葉に

☐ 共助 ☐ 互助 ☐ マイ・タイムライン ☐ 国 ☐ 自助

☐ 公助 ☐ 外国人 ☐ 火山防災マップ ☐ ヘルメット

日本には今もふん火が続いている火山が111あります。(2020年)

1 地震からくらしを守る取り組みについて、次の表中の①～④にあてはまる役わりを、の中から選びましょう。

<p>(①)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 落ち着いて行動する ・ つくえやテーブルの下にもぐる ・ ひなんリュックを用意する 	<p>(②)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア活動の推進 ・ ボランティア活動の受け入れ ・ 募金活動・助け合い活動
<p>(③)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ご近所づきあいを大切にする ・ ひなん訓練を行う ・ 防災倉庫のかくにん・点検 	<p>(④)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災ひなん計画の作成・周知 ・ ひなん行動計画の作成・周知 ・ ①と③のしえん

自助 共助 公助 互助

2 災害からくらしを守る活動について、答えましょう。

(1) 茨城県常総市の風水害対策を説明したものとして正しいものには○，まちがっているものには×をつけましょう。

- ①() 国と協力して、ていぼうを大きくしてくずれにくくしている。
- ②() 日本語だけにしか対応していないが、スマートフォン・アプリで防災じょうほうを^え得ることができる。
- ③() 高れい者などの家に、防災じょうほうがとどく受信機を置くようにしている。
- ④() 市のしょく員が住民それぞれのマイ・タイムラインをつくっている。

(2) 長野県王滝村のふん火対さくについて、次の問いに答えましょう。

- ① 御嶽山のふん火にそなえて、登山者や住民のために何を作成しましたか。
- ② 「御嶽山火山防災きょうぎ会」にはどのような人たちが参加しますか。㊦～㊴から選びましょう。
- ㊦ 長野県と岐阜県や、関係する市町村 ㊨ 消防やけいさつ
- ㊧ 国の機関 ㊩ ㊦～㊴すべて

たしかめのテスト



3. 自然災害からくらしを守る

1 地震からくらしを守る

100

ごうかく 80 点

教科書

86～99ページ

答え10ページ

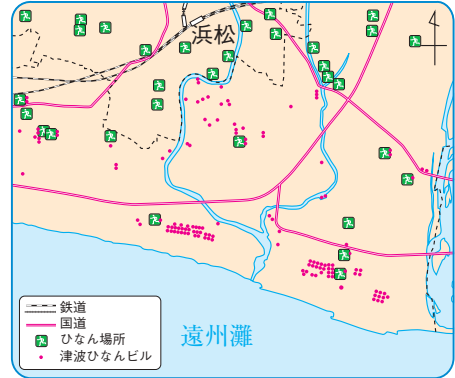
1 次の問いに、答えましょう。

1つ5点 (30点)

(1) 右の地図から読み取れるものには○, 読み取れないものには×をつけましょう。

技能

- ① () ひなん場所は、海のそばに多くある。
- ② () 津波ひなんビルは、海側にはほとんどない。
- ③ () 川のそばには津波ひなんビルはない。
- ④ () 津波ひなんビルよりも、ひなん場所の方が多。



↑ 海に近い地いきの津波ひなんビル

(2) **よく出る** 大きな災害時の市の取り組みについて説明した次の文のうち、㊦と㊧にあてはまる言葉をそれぞれ選び、○で囲みましょう。

市では、地震などの災害が起きたときの対応を㊦ { 防災計画 ・ 災害伝言ダイヤル } に定めている。大きな地震が起こった場合は、国や自衛隊、㊧ { 県 ・ 町内会 } とも連携いして対応している。

2 次の問いに、答えましょう。

(1) 1つ7点, (2) 11点 (25点)

(1) 右の地図について、答えましょう。

- ① **よく出る** 右の地図は、災害で起こるひがいを予想して、ひがいのおそれがある地いきやひなんに関するじょうほうをのせたものです。この地図を何といいますか。 ()
- ② 地図中の㊦は何を表した数字ですか。 ()



(2) **できたらゴイ!** **記述** 災害でのきん急時に、どこにひなんしたらよいかこまっている人がいます。このとき、自主防災隊の「ひなんゆうどうはん」は、どのように対応しますか。かん単に書きましょう。

思考・判断・表現

3

よく出る

①～④の役わりにあてはまる話を、㉠～㉤から選び、線で結びましよう。

1つ5点 (20点)

①

じじよ
自助



㉠市や県などが防災ひなん計画を
さくせい
作成して、みんなに知らせるよ。

②

きょうじよ
共助



㉡ボランティア活動や募金活動
ぼきん
などで、ふだんから助け合う
ことも大切だね。

③

こうじよ
公助



㉢地震が起きたら、まずつくえ
やテーブルの下にもぐるよ。

④

ごじよ
互助



㉣災害にそなえて、町内会のひ
なんくんれんさんか
なん訓練に参加しているよ。

4

災害時の対さくについて、次の問いに答えましよう。

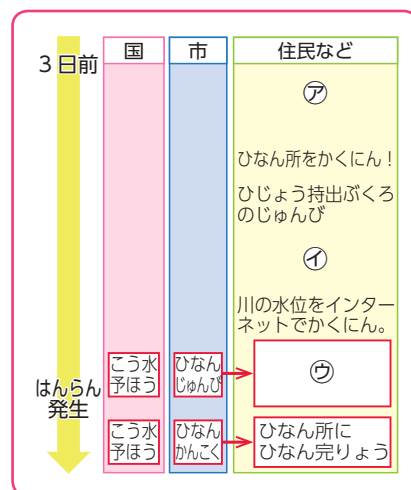
1つ5点 (25点)

- (1) 右の図は、Aさんのマイ・タイムラインです。次の①～③の行動はそれぞれ、図の中の㉠～㉤のどこにあてはまりますか。

技能

- ①() 足りないものの買い出し
②() 早めのひなん開始
③() テレビの天気予ほうをかくにん

- (2) マイ・タイムラインは、きほん的にだれが作成するものですか。



- (3) **記述** ながの おんたけさん
長野県の御嶽山では、山小屋をほ強し、中にはヘルメットやかい中電とうなどをそなえています。また、登山者は登山計画書をてい出しなければなりません。このような決まりになっている目的をかん単に書きましよう。

思考・判断・表現

3 自然災害からくらしを守る

ひたたり 1 じゃんび 34ページ

- 1 ①風水 ②火山 ③津波 ④自衛隊
2 ⑤ひなん所 ⑥じゅんび ⑦協力 ⑧地形 ⑨ひがい ⑩対さく

ひたたり 2 練習 35ページ

てびき

- 1 (1) 静岡県
(2) ①○
②×
③×
④○
- 2 ①ア
②ウ
③イ
- 1 (1) 伊豆半島は静岡県にある半島です。
(2) ②静岡県の近くでは、伊豆半島沖地震の以前にも、1854年の安政東海地震、1930年の北伊豆地震、1944年の東南海地震といった大きな地震が発生しています。
- 2 ①市の地形を知るだけでなく、どのようにひがいが広がると予想されているのかなどを調べておきましょう。
③だれが、どのような対応をするのか、それぞれの役わりを知っておくことも大切です。

ひたたり 1 じゃんび 36ページ

- 1 ①水 ②家具 ③エレベーター ④伝言ダイヤル ⑤ひなん場所
2 ⑥訓練 ⑦防災倉庫 ⑧ひょうしき ⑨テント

ひたたり 2 練習 37ページ

てびき

- 1 (1) ①エ
②ア
③ウ
④イ
(2) 171 (番)
- 2 ①—エ
②—ア
③—イ
④—ウ
- 1 (1) ①②地震のときは、家具などがたおれてくるきけんや、水や食料が不足することも予想されます。
(2) もしものときは、災害用伝言ダイヤルを使ってれんらくし合うことを約束しておくといいです。
- 2 ①ひょうしきを見て、自分はどこにひなんしたらよいのか、かくにんしましょう。②長期間のほぞんがでできる食料をほかんします。③公園のブランコは、災害時などにテントとして利用できるものもあります。④防災倉庫には、生活に必要な毛布などがほかんされています。

ひたたり 3 たしかめのテスト 38～39ページ

てびき

- 1 (1) ①イ ②ウ
③エ ④ア
(2) 津波
- 2 ①○ ②○
③○ ④×
⑤× ⑥○
- 1 (1) ①台風や大雨などによるひがいです。川の水がまちにあふれることもあります。②雪が積もると交通に大きなえいきょうがでます。③地震では、地面にひびが入ったりすることもあります。④ふん火で大量のはいがふき出し、広いはん囲にはいがふってしまいます。
- 2 ④家や学校での取り組みを調べることも重要です。
⑤県や国のホームページなどでかくにんしましょう。

3 ①—㊦ ②—㊵

③—ア ④—イ



4 (1) ①○ ②○

③× ④×

(2) (例) 身を守り、安全をかくに
んした後、決められた場所にひ
なんする。

3 ②電気が止まると、じょうほうが得られなくなります。
けいたいラジオや、電池を用意しておきましょう。④水
道が止まると、飲み水だけでなく、トイレやお風呂など、
あらゆるものが使用できなくなります。

4 (1) ③きん急の食料は、食中毒しよくちゅうどくなどのきけんが少なく、
長くほかんできるもので、学校でもほかんされていま
す。④国や県、地いきが管理しています。

 **おうちのかたへ**  ここでは、過去にどのような地震が起こり、どのような被害が起こったのかを学びます。
そしてわたしたちにどのようなそなえができるかを考えていきます。ご家庭でも、お子さんと一緒に家庭のそ
なえについて話し合ってみてください。

ひたひた 1 **じゃんび** 40ページ

1 ①防災計画 ②ひなん ③津波ひなんビル ④自衛隊

2 ⑤防災訓練 ⑥自主防災組織 ⑦自主防災隊 ⑧衛生

ひたひた 2 **練習** 41ページ

てびき

1 (1) アひなん場所
イ津波ひなんビル

(2) ア

2 ①—㊵

②—イ

③—㊦

④—ア

1 (1) 津波ひなんビルの方が、海の近くに多くあります。
(2) 「2.4m」という数字はこの地点の地面の高さをしめ
しています。

2 ①救出活動を行い、必要がある場合は防災関係機関かんけいきかん
などへ出動をいらいします。②ひなん場所まですばやく、
安全に連れていきます。③けが人を病院や救護所に運び
ます。④たき出しを行ったり、食料品や飲料水しょくりょう いんりょう、生活用
品を配ったりします。

ひたひた 1 **じゃんび** 42ページ

1 ①自助 ②共助 ③公助 ④互助

2 ⑤外国人 ⑥マイ・タイムライン ⑦火山防災マップ ⑧ヘルメット ⑨国

ひたひた 2 **練習** 43ページ

てびき

1 ① 自助

② 互助

③ 共助

④ 公助

2 (1) ①○ ②×

③○ ④×

(2) ①火山防災マップ

②㊦

1 ①自分の身は自分で守るという役わりです。②ほかの
地いきとの助け合いです。③学校や地いきで助け合っ
て守るという役わりです。④市や県、国などによる助けです。

2 (1) ②日本語だけでなく、さまざまな国の言語たいうに対応し
ています。④国や市が出すじょうほうをもとに住民が
自分たちでつくるものです。
(2) ②県や市町村、消防やけいさつ、国の機関といった
多くの人たちが参加します。

1 (1) ①× ②× ③× ④×

(2) ア防災計画 ①県

2 (1) ①ハザードマップ

②海ばつ

(2) (例) ひなん所まですばやく、安全に連れていく。

3 ①——ウ ②——㊦

③——ア ④——①

4 (1) ①㊦ ②ウ ③ア

(2) 自分(本人)

(3) (例) ふん火の災害から登山者を守るため。

1 (1) ①ひなん場所には、津波がとどきにくく、高いところが指定されるので、海側には少ないです。②津波ひなんビルは、海の近くにいてにげられない人が、高いところにひなんできるよう、海側にある高い建物などが指定されます。

2 (1) ②いろいろな場所の海ばつがしめされると、地形や、どこにひなんしたらよいかなどを考えることができます。

3 43ページのぴったり2の1の解説をふり返りましょう。

4 (1) まず天気予ほうなどで災害が起こりそうかどうかをかくにんし、その後にひなんに必要なものをじゅんびします。じゅんびができたなら、早いうちにひなんしましょう。



おうちのかたへ

ここでは、実際に災害が起こった場合にどのような行動をとるべきか、また誰がどのように連携して対応するのかを学びます。自分にできること、人と協力してできること、また、市や県、国が行うことなどを学んでいきます。